

I 第14週の発生動向 (2016/4/4~2016/4/10)

- インフルエンザについては、八戸保健所、東地方+青森市保健所管内で**警報**が、上十三保健所、五所川原保健所管内で**注意報**が続いています。また、むつ保健所管内では**警報**が、弘前保健所管内では**注意報**が解除されました。
- 流行性耳下腺炎については、東地方+青森市保健所管内で**注意報**が解除されました。

II 第14週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	174	13.38	112	7.47	255	17.00	81	11.57	176	19.56	25	4.17	823	12.66	-300
RSウイルス感染症															-1
咽頭結膜熱	1	0.13			5	0.50	3	0.60	4	0.67			13	0.31	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	1.75	9	1.00	47	4.70	1	0.20	4	0.67			75	1.79	16
感染性胃腸炎	31	3.88	30	3.33	49	4.90	10	2.00	26	4.33	17	4.25	163	3.88	-4
水痘	1	0.13			4	0.40			2	0.33	2	0.50	9	0.21	-2
手足口病															0
伝染性紅斑	3	0.38			2	0.20							5	0.12	-1
突発性発しん	3	0.38	4	0.44	8	0.80	1	0.20			1	0.25	17	0.40	3
百日咳															0
ヘルパンギーナ											1	0.25	1	0.02	1
流行性耳下腺炎	20	2.50			2	0.20			1	0.17			23	0.55	-9
眼科															
急性出血性結膜炎															-1
流行性角結膜炎	2	1.00			1	0.50							3	0.27	-6
基幹															
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎					2	2.00							2	0.33	2
マイコプラズマ肺炎					1	1.00					2	2.00	3	0.50	-1
無菌性髄膜炎	1	1.00											1	0.17	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)					1	1.00	1	1.00	1	1.00	6	6.00	9	1.50	3

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- 結核(二類全数把握疾患): 弘前2人、東地方+青森市1人、上十三1人 (2016年計:71人)
- レジオネラ症(四類全数把握疾患): 弘前1人 (2016年計:2人)

IV 病原体検出情報

検出情報はありませんでした。

感染症の窓

梅毒 (五類全数把握疾患)

梅毒の病原体は、梅毒トレポネーマというらせん状の細菌です(右図)。潜伏期間は3~6週間で、時間の経過とともにしこりや発疹など様々な症状を呈します。

全国的には、2010年以降梅毒の報告数は**増加傾向に転じており**、本年3月までの報告は昨年と同様な傾向で増加が継続しています。第13週現在、全国では899人、県内では4人の報告があります。県内の内訳は、無症状感染者が1人、硬性下疳(梅毒特有のしこり)を発症した第I期が1人、バラ疹を呈した第II期が2人でした(第I期、第II期については右下表参照)。

予防としては、感染者、特に感染力の強い第I期及び第II期の感染者との性的接触を避けることが基本です。なお、早期の薬物治療で完治が可能ですが、検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。**無症状のまま進行することがあるため**、症状が無くなったから治ったという自己判断で治療をやめてしまわないようにすることが重要です。**疑われる症状があった場合は、早めに医療機関を受診し医師の指示に従う**ことが必要です。



図1.梅毒トレポネーマの電子顕微鏡像 (出典: 国立感染症研究所)

- 第I期:** 感染が起きた部位にしこりができたり、股の付け根部分のリンパ節の腫れることもあります。
- 第II期:** 病原体が血液によって全身に運ばれ、手のひらや足の裏にバラ疹(赤い発疹)が出る場合があります。

V 県内インフルエンザ情報（2015年第51週～2016年第14週）

第14週の患者報告数は823人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは803人

【A型：98人、B型：705人】でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

（※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。）

保健所管内別届出人数（人）

週	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
東地方					4	2	7	5	6	7	5	2	2	5	8	5	3
弘前	1	8	9	32	62	194	195	212	222	130	123	137	158	241	217	187	112
八戸		2	3	37	217	396	490	399	310	190	205	167	201	166	180	222	255
五所川原			6	14	38	84	84	125	163	119	104	52	50	73	103	100	81
上十三			1	16	35	89	178	232	264	251	236	215	160	201	221	241	176
むつ	2	11	2	6	24	40	86	159	197	241	184	175	219	222	123	63	25
青森市	5	23	14	37	83	264	328	455	481	282	241	250	258	233	244	305	171
合計	8	44	35	142	463	1069	1368	1587	1643	1220	1098	998	1048	1141	1096	1123	823

A型（迅速診断キットによる型別です）(人)

週	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
東地方					4	2	7	5	6	6	1	1	1	3	3	2	0
弘前	1	8	9	32	61	193	194	208	218	124	103	90	64	33	28	27	13
八戸		2	3	34	215	377	467	354	282	168	181	128	119	84	67	37	16
五所川原			6	14	37	84	82	125	160	117	92	39	10	7	11	9	4
上十三			1	14	34	80	159	202	208	211	149	143	85	122	96	78	53
むつ	2	11	2	6	22	36	60	98	144	163	122	104	110	138	64	20	1
青森市	5	23	12	37	82	252	307	422	453	236	165	98	56	39	28	28	11
合計	8	44	33	137	455	1024	1276	1414	1471	1025	813	603	445	426	297	201	98

B型（迅速診断キットによる型別です）(人)

週	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
東地方										1	3		1	2	4	3	3
弘前					1	1	1	4	4	6	20	47	94	208	189	160	99
八戸				3		6	10	10	10	8	15	32	80	73	108	175	229
五所川原							2		3	2	12	13	40	66	92	91	77
上十三				2	1	8	16	22	46	26	74	53	66	64	115	150	113
むつ					2	4	26	61	53	78	62	71	109	84	59	43	24
青森市			2		1	6	9	11	16	38	67	138	191	188	211	271	160
合計	0	0	2	5	5	25	64	108	132	159	253	354	581	685	778	893	705

年齢区分別(人)

週	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
～5ヶ月						3	3	5	7	7	3	2	6	1	1	4	2
～11ヶ月				4	7	13	12	26	35	18	16	16	11	16	18	11	13
1歳		1	2	5	23	47	77	82	75	64	46	53	46	43	36	39	34
2歳		1	4	3	16	47	65	89	78	58	45	48	44	44	39	56	32
3歳		1	1	1	17	50	73	90	80	53	58	34	42	45	60	60	70
4歳			1	8	25	63	116	94	94	76	74	71	64	61	68	91	88
5歳		1	2	5	23	76	122	89	111	95	82	74	63	76	63	71	85
6歳		1	1	3	29	70	96	107	101	64	67	67	54	74	61	84	58
7歳	2	6	1		13	72	72	103	101	71	55	62	57	59	55	70	47
8歳		4	1	3	14	66	55	87	54	57	62	43	47	65	67	60	36
9歳	1	3		2	7	58	64	79	59	54	50	38	35	63	47	46	20
10～14歳		4	1	4	29	99	145	220	201	154	139	137	211	233	203	204	63
15～19歳	4	11	3	9	18	42	51	64	68	28	32	33	54	46	46	60	37
20～29歳		1	2	10	35	39	48	57	78	52	41	46	49	52	49	24	33
30～39歳		3	6	20	47	68	95	105	157	100	82	70	68	66	78	72	69
40～49歳	1	4	3	18	60	92	103	104	116	84	74	66	66	58	76	59	38
50～59歳		2	2	22	45	65	71	87	91	76	72	55	47	56	40	46	44
60～69歳		1	3	18	32	58	61	57	80	69	37	52	51	43	39	28	22
70～79歳			1	5	14	27	26	27	33	27	42	20	18	26	30	17	18
80歳以上			1	2	9	14	13	15	24	13	21	11	15	14	20	21	14

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2016年第4週～2016年第14週）

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
4	H28.1.25 ~ H28.1.31	アメーバ赤痢1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
5	H28.2.1 ~ H28.2.7						
6	H28.2.8 ~ H28.2.14	デング熱1人	E型肝炎1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 梅毒1人			
7	H28.2.15 ~ H28.2.21				E型肝炎1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	
8	H28.2.22 ~ H28.2.28	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			
9	H28.2.29 ~ H28.3.6			梅毒1人			
10	H28.3.7 ~ H28.3.13		侵襲性肺炎球菌感染症1人			クリプトスポリジウム症1人	
11	H28.3.14 ~ H28.3.20						
12	H28.3.21 ~ H28.3.27		梅毒1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			
13	H28.3.28 ~ H28.4.3		梅毒1人				
14	H28.4.4 ~ H28.4.10		レジオネラ症1人				

VII 結核(二類全数把握疾患) (2016年第4週～2016年第14週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
4	H28.1.25 ~ H28.1.31	1	1				
5	H28.2.1 ~ H28.2.7	2	5	1			
6	H28.2.8 ~ H28.2.14	1				1	1
7	H28.2.15 ~ H28.2.21	2	1	1	1		
8	H28.2.22 ~ H28.2.28	1	1	2		1	
9	H28.2.29 ~ H28.3.6		1	1	1	1	
10	H28.3.7 ~ H28.3.13		1	2			
11	H28.3.14 ~ H28.3.20		2	5			
12	H28.3.21 ~ H28.3.27			4	1		
13	H28.3.28 ~ H28.4.3	1	2	1	1		1
14	H28.4.4 ~ H28.4.10	1	2			1	

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注: 発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第13週累計)

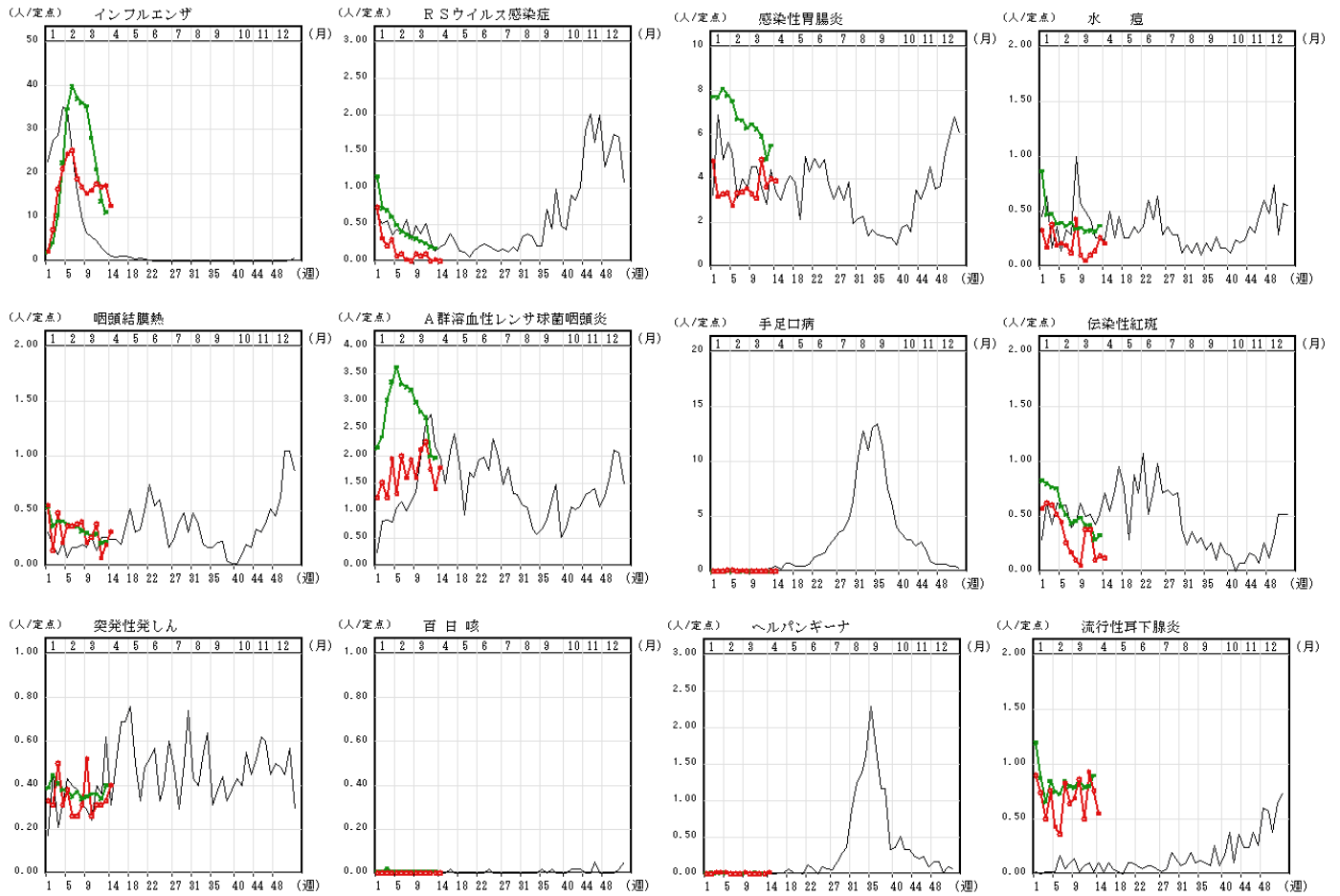
分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	回帰熱	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	マラリア	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎
累積報告数	5507	38	154	11	3	107	99	3	1	4	5	2	38	90	3	8	261	3	301	59
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アンネクトバクター感染症		
累積報告数	335	305	3	51	146	358	17	92	15	821	62	899	31	17	11	24	5	11		

青森県 (2016年第1週～第14週累計)

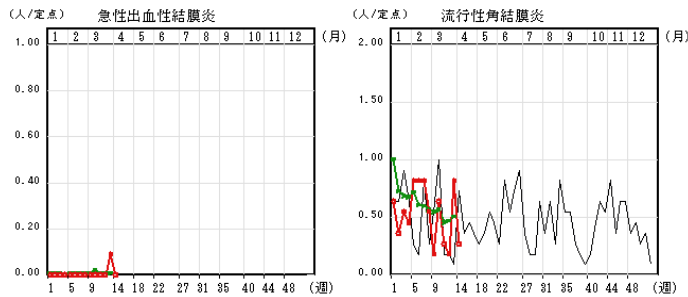
分類	二類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	E型肝炎	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒					
累積報告数	71	4	1	2	1	8	1	1	1	2	1						4

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第14週、但し全国は前週)

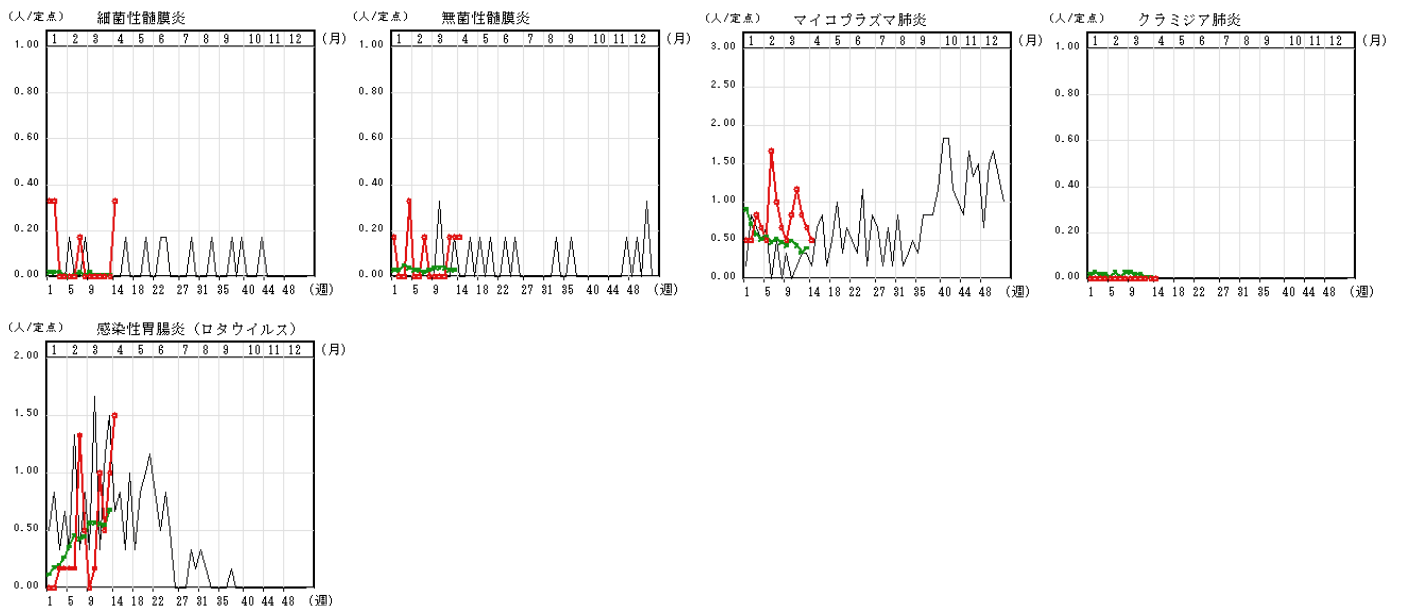
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、 ×—×は2016年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第14週、但し全国は前週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第14週、但し全国は前週)



XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第14週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第14週	介護・老人福祉関係施設	15	弘前保健所

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月		2月		3月		4月		計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13週	14週	13週	14週		
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	1	1	1	1	1	6	
	発症者数	0	84	13	30	15	15	15	142	
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	0	0	0	0	2	
	発症者数	0	26	0	0	0	0	0	26	
障害関係施設	件数	0	0	1	1	0	0	0	2	
	発症者数	0	0	11	5	0	0	0	16	
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	
計(月別)	件数	0	5	2	2	1	1	1	10	
	発症者数	0	110	24	35	15	15	15	184	